

## 安達地方広域行政組合告示第20号

安達地方広域行政組合財政状況の作成及び公表に関する条例（昭和47年安達地方広域行政組合条例第19号）の規定に基づき、令和3年4月から令和3年9月までの財政状況及び前年度決算の概要について公表する。

令和3年12月1日

安達地方広域行政組合管理者 三保 恵一

### 安達地方広域行政組合財政状況

#### 1 収入及び支出の概況

区 分	収 入	支 出
令和3年4月	300,894,298円	359,640,393円
令和3年5月	1,304,944,536円	1,199,776,837円
令和3年6月	599,240,240円	646,896,620円
令和3年7月	1,392,189,299円	405,325,229円
令和3年8月	594,185,522円	1,607,251,331円
令和3年9月	244,351,318円	330,253,326円

#### 2 財産

##### (1) 期間中に取得した財産

###### ① 公有財産

なし

###### ② 物品（取得価格100万円以上のものを記載）

・高度救急処置シミュレーター 2,113,100円  
・消防本部広報車 1,765,900円

###### ③ 基金（積立額）

・財政調整基金 49,910円  
・廃棄物処理施設整備基金 100,000,000円

##### (2) 期間中に処分した財産

###### ① 公有財産

なし

###### ② 物品（更新に伴う処分を除く。）

なし

- ③ 基金（取り崩し額）  
なし

3 公債の現在高  
882,665,063円

4 一時借入金の現在高  
0円

5 前年度決算の概況

(1) 総括

令和2年度一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入決算額が7,673,856,787円、歳出決算額が7,357,751,935円で、差引残額316,104,852円の黒字となった。

(2) 一般会計

① 決算の規模

決算規模は歳入が7,670,119,487円、歳出が7,354,014,635円、差引316,104,852円となり、前年度と比較すると歳入で493,844,976円（6.8%）の増、歳出で363,494,230円（5.1%）の増という決算規模となった。

② 決算収支

財政運営の状況を判断するための基準とされる当年度実質収支は、234,110,852円となっている。

③ 歳入の状況

1款の分担金及び負担金は、決算額2,991,369,000円で、前年度と比較して126,685,000円（4.1%）の減となっている。

2款の使用料及び手数料は、決算額123,446,714円で、前年度と比較して10,165,287円（7.6%）の減となっている。主なものはあだたら聖苑関係使用料26,905,800円、もとみやクリーンセンター関係手数料71,168,100円、あだたら環境共生センター関係手数料22,755,090円などである。

3款の国庫支出金は、決算額38,096,260円で、前年度と比較して1,295,212円（3.2%）の減となっている。内訳は、廃棄物処理施設モニタリング等事業費補助金1,465,970円、放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金34,991,250円、原子力災害避難指示区域消防活動交付金760,294円である。

4款の県支出金は、決算額3,822,146,495円で、前年度と比較して410,275,683円（12.0%）の増となっている。内訳は除染対策事業交付金3,798,053,069円、救急業務高度化推進事業補助金726,000円、ロボットテストフィールド活用訓練事業補助金163,944円である。

5款の財産収入は、決算額14,086,001円で、前年度と比較して8,075,385円

(36.4%)の減となっている。内訳はもとみやクリーンセンターにおける資源物の売払収入12,112,259円、不用品売払収入803,000円などである。

7款の繰入金は、決算額30,781,525円で、前年度と比較して73,779,577円(70.5%)の減となった。安達地方地域振興基金から事務局及び消防本部車両の更新費用に充当したものである。

8款の繰越金は、決算額で185,754,106円で、前年度と比較して28,565,335円(18.1%)の増となった。

9款の諸収入は、決算額228,939,386円で、前年度と比較して58,004,419円(33.9%)の増となった。主なものとして、福島第一原子力発電所事故による東京電力からの損害賠償金が178,603,348円、容器包装リサイクル協会拠出金10,284,898円、高速道路救急業務支弁金8,938,080円などである。

10款の組合債は、決算額235,500,000円で、消防施設整備事業債8,800,000円、緊急防災・減災事業債226,700,000円の借り入れを行い、高規格救急自動車及びはしご付消防自動車の購入に充当したものである。

なお、調定額に対する収入済額の比率(収入率)は100%で、不納欠損金及び収入未済額は無かった。

#### ④ 歳出の状況

1款の議会費は、決算額が647,077円(執行率91.5%)で、前年度と比較すると52,150円(7.4%)の減となっている。

2款の総務費は、決算額が167,442,127円(執行率99.1%)で、前年度に完了した組合内ネットワーク機器更新業務により前年度比で減となる要素があるものの、事務局車両の更新及び財政調整基金の積立てを行ったことにより、前年度と比較すると5,855,748円(3.6%)の増となっている。

3款の衛生費は、決算額が5,601,917,644円(執行率93.3%)で、前年度と比較すると330,649,911円(6.2%)の増となっている。うち除染廃棄物減容化事業は3,798,249,069円となり、衛生費の67.8%あまりを占めている。除染廃棄物減容化事業を除いた衛生費は、1,803,668,575円となり、前年度と比較し57,197,013円の減となっている。これは各施設の維持整備及び修繕等に係る事業費が減となったことが主な要因である。

4款の消防費は、決算額が1,424,599,489円(執行率95.5%)で、はしご付消防自動車及び高規格救急自動車の更新等を行ったことにより、前年度と比較すると148,723,577円(11.6%)の増となっている。

5款の公債費は、定期償還に係るものであり、決算額は償還元金156,117,583円及び償還利子3,290,715円で合わせて159,408,298円(執行率100%)で、ごみ処理施設及びし尿処理施設関係の償還が進んだことにより、前年度と比較して121,682,856円(43.2%)の減となっている。

歳出全体では、不用額総額 564,263,365 円で、執行率は 91.9%である。

(3) 安達地方地域振興事業特別会計

① 決算の規模

決算規模は歳入歳出ともに 3,737,300 円で、前年度と比較すると歳入歳出ともに 156,903 円 (4.0%) の減となっている。

② 決算収支

当年度実質収支は、差引 0 円となり翌年度への繰越はなかった。

③ 歳入の状況

1 款の基金収入は、決算額が 3,737,300 円で、前年度と比較して 156,903 円 (4.0%) の減となっている。内訳は地域振興基金繰替運用益 3,503,618 円、地域振興基金預金利子 233,682 円であり、2 款繰越金及び 3 款諸収入の決算額は全て 0 円となっている。

④ 歳出の状況

1 款の基金造成費は、決算額が 2,737,300 円 (執行率 100%) で、前年度と比較して 2,047,097 円 (296.5%) の増となっている。

2 款の事業費は、決算額が 1,000,000 円 (執行率 100%) で、内訳は文化支援事業 1,000,000 円である。

歳出全体では、不用額総額 216,700 円で、執行率は 94.5%である

(4) 基金

① 安達地方地域振興基金

令和 2 年度末残高は現金及び繰替運用分の合わせて 1,192,917,526 円で、前年度と比較して 2,737,000 円の増となっている。

② 安達地方広域行政組合財政調整基金

令和 2 年度末残高は 200,189,000 円で、前年度と比較して 50,075,262 円の増となっている。これは預金利息 75,262 円の外、新たに 50,000,000 円の積立てを行ったことによる。

③ 安達地方廃棄物処理施設整備基金

令和 2 年度中において安達地方廃棄物処理施設整備基金を設立し、33,164,954 円の新規積立を行い、年度末残高も同額となっている。